

- 問1 紀元前2500年頃からインド北西部の河川流域で栄え、モヘンジョ・ダロに代表されるような、道路が碁盤の目のように整備され上下水道を備えた計画的な都市を築いた文明を何といいますか。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
1. メソポタミア文明 2. 中国文明 3. インダス文明 4. エジプト文明
- 問2 四大文明の一つであるメソポタミア文明について、その特徴や文化的な背景を説明した文として最も適切なものは、次のうちどれですか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
1. ナイル川の定期的な氾濫を管理するために、測量術が発達し、太陽暦や象形文字が使われた。 2. インダス川流域で都市文明が発達し、印章などに刻まれた独自の未解読文字が使われた。 3. ティグリス川とユーフラテス川の増水時期を予測する必要から、天文学が発達し、太陰暦や六十進法が生まれた。 4. 黄河や長江の流域で青銅器文化が発達し、亀の甲羅などに甲骨文字が刻まれた。
- 問3 室町時代から江戸時代にかけての社会や文化の動きについて、歴史的な背景や因果関係を正しく説明しているものはどれですか。 (2015年 山口県公立入試 類似)
1. 江戸時代に日光東照宮が造営された背景には、16世紀の銀鉱山開発による利益を独占し続けていた室町幕府の足利将軍家による経済的支援があった。 2. 15世紀後半の東山文化で銀閣が建てられたのち、16世紀には石見銀山などで精錬技術が向上して銀の増産が進み、世界的な銀の供給源となった。 3. 源頼朝が東大寺を再建させたことで銀の価値が国際的に高まり、その資金を活用した足利義政が室町時代に銀閣を建立した。 4. 奈良時代に唐招提寺を建立した鑑真が銀の採掘技術を伝えたため、鎌倉時代の東大寺再建の費用はすべて銀の輸出による利益で賄われた。
- 問4 ティグリス川とユーフラテス川の流域で栄えたメソポタミア文明において、粘土板に刻んで使用された文字と、月の満ち欠けに基づき作られた暦の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
1. 甲骨文字と太陰太陽暦 2. 象形文字（ヒエログリフ）と太陽暦 3. アルファベットと太陽暦 4. くさび形文字と太陰暦
- 問5 南アメリカ大陸の西側に位置するアンデス山脈沿いの地域において、15世紀から16世紀にかけて繁栄した先住民の国家について述べたものとして正しい名称を選びなさい。この国家は、マチュピチュに代表される精巧な石造建築技術を持っていたことで知られています。 (2022年 三重県公立入試 類似)
1. モンゴル帝国 2. インカ帝国 3. ムガル帝国 4. オスマン帝国
- 問6 フランス革命以前のフランスにおける、アンシャン・レژیーム（旧制度）と呼ばれる社会構造について述べた次の説明のうち、最も適切なものを選んでください。この社会では、人口のわずか数パーセントにすぎない特定の身分が、広い領地を持ち免税などの特権を享受していました。 (2026年 京都府公立入試 類似)
1. 第一身分である聖職者が、特権階級として免税などの恩恵を受けていた 2. 第二身分である平民が、政治の実権を握り経済を支配していた 3. 第三身分である貴族が、国王の諮問機関である三部会を主導していた 4. 全ての身分が平等に納税の義務を負い、参政権が与えられていた
- 問7 中国の河南省安陽市にある「殷墟（いんきょ）」と呼ばれる遺跡から大量に出土し、当時の王朝の存在を証明する決定打となった史料を、その特徴に基づいて説明しているものはどれですか。 (2025年 大阪府公立入試 類似)
1. パピルスと呼ばれる植物の茎から作られた紙に、当時の法律を記した資料 2. 亀の甲羅や動物の骨に刻まれており、古い内容が記録されている資料 3. ピラミッドの内部に描かれており、王の復活を願う呪文が記された資料 4. 竹を細長く割ったものに、官僚の採用試験の内容を記録した資料
- 問8 古代文明では、政治の記録や商業のやり取り、カレンダーの作成などのために独自の文字が発明されました。文明の名称と、その拠点となった河川、および使用された文字の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 高知県公立入試 類似)
1. エジプト文明 – ナイル川 – 象形文字（ヒエログリフ） 2. 中国文明 – チグリス・ユーフラテス川 – 甲骨文字 3. メソポタミア文明 – インダス川 – 楔形文字 4. インダス文明 – 黄河 – インダス文字
- 問9 弥生時代に現れた青銅器と、奈良時代に現れた和同開珎。これら2つの資料の使われ方や目的の違いを説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
1. 青銅器は大陸との貿易を円滑にするための通貨であったが、和同開珎は国内の物々交換を禁止するために作られた。 2. 青銅器は狩猟の道具として実用的に使われたが、和同開珎は死者を弔うための副葬品として使われた。 3. 青銅器は稲作の収穫効率を高める農具として使われたが、和同開珎は寺院を建立する際の地面を固める材料として使われた。 4. 青銅器は主に祭りの道具などの宝物として使われたが、和同開珎は国家の権威を示し、建設費用をまかなう等の目的で発行された。
- 問10 イスラム教が誕生した地域は、世界の略地図上でアフリカ大陸の北東に位置する広大な乾燥地帯であり、紅海とペルシア湾という二つの海域に挟まれた三角形の形状をしています。この地域の名称として正しいものを、次の中から選びなさい。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
1. 中央アジア 2. イベリア半島 3. アラビア半島 4. スエズ運河
- 問11 古代東アジアの勢力範囲を説明した資料において、漢（前漢）の時代に万里の長城が築かれた場所を文章で表現する場合、その位置関係の説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)
1. 日本列島に近い沿岸部に位置し、東方の島々との境界となっている 2. 中国大陸の南部の海岸線に沿って、海上勢力を防ぐように配置されている 3. 中国大陸の北側に位置する内陸部の境界線に沿って配置されている 4. 朝鮮半島の中央部を横断し、半島を南北に分断するように配置されている
- 問12 古代中国の文明が発展する過程で、思いやりの心（仁）と正しい行い（礼）を基本とした政治を説き、のちに日本や朝鮮半島などの東アジア諸国の政治や教育に大きな影響を与えた人物は誰ですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
1. シャカ 2. 孔子 3. 卑弥呼 4. 始皇帝
- 問13 イタリア半島中部に位置する都市国家から発展し、紀元前6世紀末に貴族を中心とした「共和制」が成立した後、紀元前1世紀には地中海の全域を統一する巨大な帝国へと成長した国家の名前を答えなさい。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
1. 長安 2. バビロン 3. ローマ 4. アテネ

答え合わせ・解説

問1	答え 3 インダス文明	インダス川流域で発達したこの文明は、高度な都市計画に基づいた都市遺跡が特徴です。レンガ造りの建物や排水溝などが整えられており、当時の高い測量技術や土木技術の存在がうかがえます。
問2	答え 3 ティグリス川とユーフラテス川の増水時期を予測する必要から、天文学が発達し、太陰暦や六十進法が生まれた。	メソポタミア文明は、不規則な氾濫を繰り返すティグリス川とユーフラテス川の流域で成立しました。そのため、農業の管理に不可欠な暦や数学が高度に発達しました。この地域で生まれたくさび形文字は、のちに周辺の民族にも広まり、西アジア全体の文化の基礎となりました。選択肢にある「ナイル川」はエジプト文明、「インダス川」はインダス文明、「黄河・長江」は中国文明に関する記述です。
問3	答え 2 15世紀後半の東山文化で銀閣が建てられたのち、16世紀には石見銀山などで精錬技術が向上して銀の増産が進み、世界的な銀の供給源となった。	15世紀、足利義政が東山山荘に銀閣を建立した時期は室町時代の中期にあたります。その後、16世紀に入ると灰吹法などの新しい技術が導入され、石見銀山を中心に銀の生産量が急増しました。この銀は戦国大名やその後の江戸幕府の重要な財源となり、南蛮貿易や中国（明・清）との貿易における主要な決済手段として、世界の経済に大きな影響を与えました。日光東照宮の造営は、江戸幕府がこの強大な経済基盤を確立した後の出来事です。
問4	答え 4 くさび形文字と太陰暦	現在のイラク付近を流れるティグリス川・ユーフラテス川の流域では、紀元前3000年ごろからメソポタミア文明が発達しました。この文明では、葦の茎などを削ったペンで粘土板に「くさび形文字」を刻んだほか、月の満ち欠けの周期を基準とした「太陰暦」が用いられました。また、円を360度としたり、時間を60分・60秒で区切ったりする「六十進法」が考案されたことも大きな特徴です。
問5	答え 2 インカ帝国	南アメリカのアンデス山脈の高地に築かれたこの文明は、文字を持たない代わりに「キープ（結縄）」という紐の結び目で数字などを記録していました。車輪や鉄器、大型の家畜を持たなかったにもかかわらず、巨大な石を精密に組み上げる高度な建築技術や、広大な領土を結ぶ道路網を整備していたことが特徴です。
問6	答え 1 第一身分である聖職者が、特権階級として免税などの恩恵を受けていた	フランス革命前の社会体制であるアンシャン・レジームでは、国民が三つの身分に分けられていました。第一身分の聖職者と第二身分の貴族は、広大な土地を所有しながら納税の義務を免除されるなどの特権を持っていました。これに対し、人口の約98%を占める第三身分の平民は、政治的権利がない一方で重い税を負担しており、この格差が革命の要因となりました。
問7	答え 2 亀の甲羅や動物の骨に刻まれており、占いの内容が記録されている資料	殷墟は殷王朝後期の都の跡であり、ここから発見された甲骨によって、伝説上の存在に近かった殷が実在したことが裏付けられました。甲骨には、農作物の豊凶、戦争の成否、天候、王の健康状態などの占いの結果が刻まれており、当時の社会状況を詳しく知ることができる一級の史料となっています。
問8	答え 1 エジプト文明 - ナイル川 - 象形文字（ヒエログリフ）	エジプト文明は「ナイルのたまもの」と呼ばれる通り、ナイル川の定期的な増水がもたらす肥沃な土壌によって発展し、パピルスなどに記される象形文字を使用しました。メソポタミア文明はチグリス・ユーフラテス川、インダス文明はインダス川、中国文明は黄河や長江の流域でそれぞれ成立しており、河川と文明の正しい対応を把握しておくことが重要です。
問9	答え 4 青銅器は主に祭りの道具などの宝物として使われたが、和同開珎は国家の権威を示し、建設費用をまかなう等の目的で発行された。	弥生時代の青銅器（銅鐸、銅剣、銅矛など）は、当初は武器の形をしていましたが、次第に大型化し、豊作を祈るなどの祭りの道具として用いられるようになりました。一方、奈良時代の和同開珎は、律令制のもとで国家の経済的基盤を固め、都の造営などの支出をまかなうために発行された貨幣です。資料の用途の変化は、単なる道具の進化ではなく、社会の仕組みが「村の共同体」から「統一国家」へと発展したことを示しています。
問10	答え 3 アラビア半島	イスラム教の聖地であるメッカやメディナが存在するのは、アジア大陸の南西端に位置するアラビア半島です。この地域は古くから東西貿易の結節点として栄えており、イスラム教の教えが商人のネットワークを通じて広まる地理的要因ともなりました。
問11	答え 3 中国大陸の北側に位置する内陸部の境界線に沿って配置されている	漢の時代の万里の長城は、王朝の北限を示すように、現在の中国の内陸部から黄河の北側、さらには朝鮮半島の付け根付近にかけての境界線上に築かれました。これは、農耕定住生活を送る漢の勢力圏と、それより北側に広がる遊牧民族の活動圏を物理的に切り分ける境界線の役割を果たしていました。
問12	答え 2 孔子	殷の時代からさらに時代が下ると、社会の混乱を収めるための思想が模索されるようになりました。孔子が説いた儒教の教えは、家族や国家の秩序を重視するものであり、日本においても律令国家の形成期から江戸時代の学問に至るまで、長い期間にわたって道德の規範とされました。
問13	答え 3 ローマ	イタリア半島中部の小さな都市国家から始まったこの国家は、王政を廃止して貴族による共和制を確立しました。その後、平民の権利拡大や周辺地域への征服活動を通じて勢力を広げ、最終的には地中海を「われらが海」と呼ぶほどの広大な帝国を築き上げました。ギリシャのアテネと異なり、広大な領土を統治するための法整備や土木技術が発達した点も特徴です。